

大学におけるハラスメント防止に向けて（研修教材の紹介）

経緯

- 学生がハラスメントに悩まされことなく学べる環境は、個々の学生の学びを支える基本的な前提条件であり、教育機関である大学においてハラスメントが生じることはあってはならない。
- 大学においても、学生が安心して就学できる環境を確保することが求められていることから、文部科学省としても、行為者への厳正な対処に関する学内規則の整備等について、参考としていただきたい事項等を周知してきたところ。
- 大学における課題や優れた対応事例等も踏まえて、今般、**各大学における研修等で活用できるハラスメント防止の啓発のためのコンテンツを作成。**

公表サイトはこちら→



教材内容

① 大学生向け研修動画

主な情報

- ハラスメント対策の必要性
- どのようなことがハラスメントにあたるのか
- ハラスメントに巻き込まれた際の対処法
- 自分が加害者にならないために気を付けること



セクハラについて



パワハラ/アカハラについて



- ハラスメントに遭ったらどう対応すればいいんだろう？
- そもそも大学でのハラスメントって何があるの？



ハラスメントとは何か示したうえで、そうした場面における考え方の基本や心構えを概括的に紹介。

② 教職員向け研修資料

主な情報

- ハラスメントの定義・類型・要件と大学教員に求められる役割
- 大学でハラスメントが起きる背景
- ハラスメントの具体例（最近のトレンドを含む）
- ハラスメント防止のための心構え・対処方法



- どういった指導がハラスメントになるんだろう？
- 学生との距離が近い中で、どうすればハラスメントを未然に防げる？



ハラスメントの事例や対応のポイント、学生とコミュニケーションをとる際の心構え等について、具体的に紹介。

③ 担当者向け研修資料

主な情報

- ハラスメントの定義、類型、要件と相談窓口の必要性
- ハラスメント相談対応の流れ
- 相談員の役割（①問題の整理、②選択肢提示、③意識決定の援助）
- 相談窓口としての適切な環境構築の方法



- 相談窓口の職員として、ハラスメントに適切な対応をしたい。
- 何に気を付けて相談に対応をすればいい？



ハラスメント対応の流れや相談員の役割等について、具体的に紹介。

④ 管理職向け研修資料

主な情報

- ハラスメントが与える影響・相談対応の流れ
- 組織としてできる体制整備の概要（ルール整備、人員配置、制度構築等）
- ハラスメントが起きにくい組織づくりの方法（研修、情報共有、性的多様性への理解）
- 事案発生時の心構え



- 組織の管理職として、ハラスメントのない学校づくりを行いたい。
- 未然防止とハラスメントが起きた際の対応について意識すべきことは？



ハラスメント対策に向けたシステム構築の方法等について、具体的に紹介。